

(案)

堺区基本計画

サブタイトル

2026—2030



令和8年3月

堺市 堺区役所

目次

第1章 堺区基本計画について

1 策定の趣旨	1
2 計画の位置づけと計画期間	2
3 堺区チャレンジ（Challenge）プラン 2021-2025 の総括	3
4 堺区民アンケートの結果	5
5 堺市堺区政策会議でのご意見	7
6 まとめ	8

第2章 将来像・基本方針

1 めざすべき将来像【2035 年（10 年度）の将来像】	9
2 基本方針	9
3 基本方針及び取組の方向性	
基本方針 1	10
基本方針 2	12
基本方針 3	14
基本方針 4	16

第3章 資料編（作成中）

1 ●●	●
------	---

第1章 堺区基本計画について

1 策定の趣旨

堺区では、令和3年3月に「堺区チャレンジ（Challenge）プラン2021-2025」を策定し、「恵まれた歴史と文化を誇りに、地域の力で居住の魅力と活力を生み出す堺区」という将来像（2030年）を掲げ、区民の皆様のご協力のもと、様々な施策に取り組んできました。

この間、社会環境は大きく変化しており、人口減少や高齢化の進行、コロナ禍の収束、外国人居住者の増加、自然災害リスクの高まり、そしてICT技術の急速な進展など、様々な要因が複雑に絡み合っています。これらの変化は、地域社会の在り方や行政サービスの提供方法等に大きな影響を与えており、私たちはこれらの課題に柔軟かつ持続可能な形で対応することが求められています。

また、堺区内では、世界遺産・大仙公園エリア、環濠エリア、堺東駅・堺駅・堺旧港周辺など市内各拠点エリアの整備や、SMIプロジェクト等が進んでいます。さらに、2040年頃には堺東駅の連続立体交差が完成する予定です。

加えて、区民ニーズも多様化しており、こうした状況に的確に対応し、より効果的な取組を進めるため、5年間の取組を総括し、堺区の成果や課題を整理し、堺区民意識調査（以下、区民アンケートという。）の結果や堺区政策会議での意見等を反映させ、新たな未来に向けた計画を策定します。

本計画の策定にあたっては、堺市の上位計画である「堺市基本計画2030」において、「利便性の高い区役所の実現」が継続して位置づけられており、堺区ではこれまでの将来像を継承しつつ、区民の安全・安心な暮らしを守るため、魅力ある地域の共創、スマート区役所への転換、区局連携の強化などの視点により施策を展開します。



イメージ写真

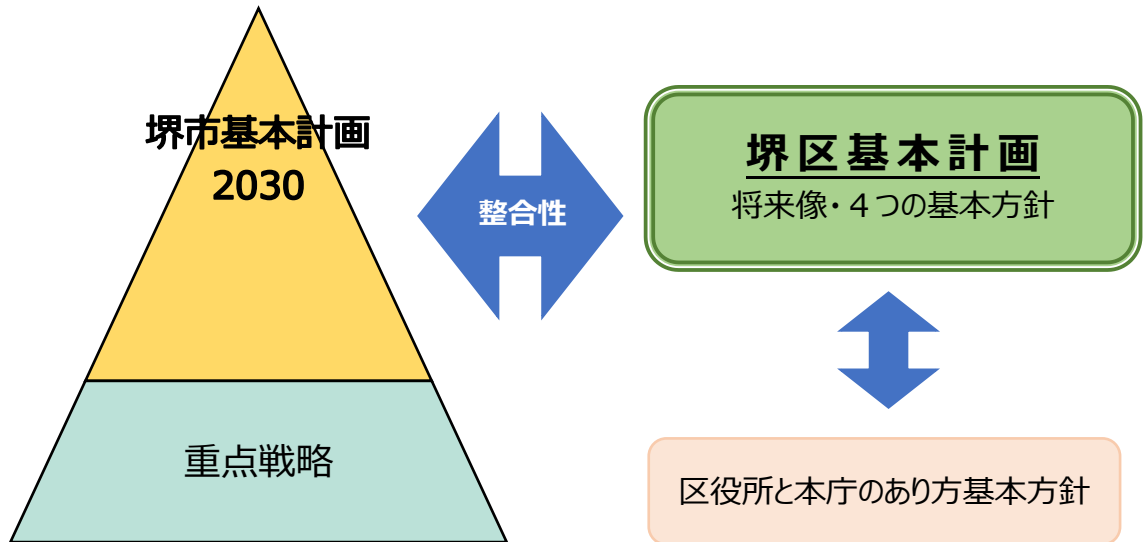


イメージ写真

2 計画の位置づけと計画期間

本計画は、「堺市基本計画 2030」を上位計画とし、計画を推進する上で「利便性の高い区役所の実現」を重要な視点とし、堺区のめざすべき将来像の実現のため、4つの基本方針を設定し、信頼される区役所をめざします。

また、計画期間は、10年後（2035年）の将来像を見据えて、令和8（2026）年度～令和12（2030）年度の5年間とします。



3 堺区チャレンジ（Challenge）プラン 2021-2025 の総括

■ 基本方針 1 堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、郷土愛が育まれていること

施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）

指 標	当 初	現状値	目 標
堺区Instagramのフォロワー数 （堺区調べ）	512 件 （R3 年 2 月）	2,400 件 （R7 年 9 月）	3,000 件 （R7 年度）
歴史文化資源を身近に感じるか （堺市市民意識調査（堺区））	63.5% （R1 年度）	78.9% （R6 年度）	向上
堺市に魅力や愛着を感じるか （堺市市民意識調査（堺区））	66.6% （R1 年度）	73.8% （R6 年度）	向上

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計

○KPI の 3 つの指標のうち 2 つに関して現状値は目標を達成しました。

○Instagramのフォロワー数は、目標の達成には至っていませんが、当初からは約 4.6 倍に数字を伸ばしました。

■ 基本方針 2 人と人のつながりが地域を支え、活力が生み出されていること

施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）

指 標	当 初	現状値	目 標
自治会加入率【モデルエリア選定】 （堺区調べ）	58.7% （R5 年度）	62.1% （R7 年度）	5 %上昇 （R7 年度）
近所づきあいの良さ （堺市市民意識調査（堺区））	42.0% （R1 年度）	49.2% （R6 年度）	向上
地域での様々な活動が活発か （堺市市民意識調査（堺区））	51.0% （R1 年度）	58.8% （R6 年度）	向上
生涯学習活動に参加しているか （堺市市民意識調査（堺区））	25.1% （R1 年度）	19.3% （R6 年度）	向上

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計

○KPI の 4 つの指標のうち 2 つに関して現状値は目標を達成しました。

○地域活動を活性化させるため施策について、切り口を変えて実施する必要があります。

■ 基本方針 3 おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること

施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）			
指 標	当 初	現状値	目 標
窓口対応について （窓口アンケート調査）	90.9% （R1 年度）	91.1% （R6 年度）	95% （R7 年度）
堺に住み続けたいか （堺市市民意識調査（堺区））	77.7% （R1 年度）	84.7% （R6 年度）	向上
海外に紹介したくなる魅力があるか （堺市市民意識調査（堺区））	42.9% （R1 年度）	48.1% （R6 年度）	向上

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計

○KPI の 3 つの指標のうち 2 つに関して、現状値は目標を達成しました。

■ 基本方針 4 すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること

施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）			
指 標	当 初	現状値	目 標
防災訓練の参加人数 （堺区調べ）	3,278 人 （H30 年度）	3,055 人 （R6 年度）	4,000 人 （R7 年度）
災害に強く安全・安心に暮らせるか （堺市市民意識調査（堺区））	44.7% （R1 年度）	56.7% （R6 年度）	向上
治安に関する不安はないか （堺市市民意識調査（堺区））	48.9% （R1 年度）	49.3% （R6 年度）	向上

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計

○KPI の 3 つの指標のうち 2 つに関して現状値は目標を達成しました。

○防災訓練の参加人数は、自治会の加入者数の減少や新型コロナの影響により訓練中止や人数を制限した訓練により、R1 年度には 1,960 人まで落ち込みましたが、R6 年度は 3,055 人に回復しました。

4 堺区民アンケートの結果

○ 調査目的

区民が望む堺区の将来像、暮らしや窓口サービスなどに係る評価や意識等を調査することにより、区民ニーズや区域課題を把握して分析し、今後の区政運営等に反映するための基礎資料とすることを目的に実施しました。

○ 調査概要

対 象	堺区内在住の満 16 歳以上（令和 6 年 11 月末時点）の男女個人 2,500 人（住民基本台帳から無作為抽出）
調査実施時期	令和 6 年 12 月 27 日（金）～令和 7 年 1 月 15 日（水）
調査方法	郵送配布・郵送回収及び WEB 回答方式の併用
有効回答数	918 人（36.7%）（紙調査票 567 人、WEB351 人）

○ 主な結果（抜粋）※区民アンケートの詳細は資料編参照

1 暮らしの評価

- ・買い物や交通機関の利便性、歴史的資源についての満足度は高い一方、介護予防・認知症予防の取組についての満足度は低い。

【暮らしについての評価「満足」の割合 上位 3 選】

- ・日常の買い物の利便性
- ・通勤・通学などの交通機関の利便性
- ・寺社など歴史的資源

【暮らしについての評価「わからない」の割合 上位 3 選】

- ・介護予防、認知症予防の取組（講座、情報発信など）
- ・子育て支援の取組（相談窓口、講座など）
- ・健康増進の取組（ウォーキング活動、健康教室など）

2 堺区の将来の希望

- ・「犯罪や事故が少なく、また災害に強く、安全で安心に暮らせる」の割合が 7 割強と突出して多く、堺区民の安全・安心への意識の高さが際立っている。

【将来の希望 上位 3 選】

- ・犯罪や事故が少なく、また災害に強く、安全で安心に暮らせる
- ・福祉、保健、医療体制が充実している
- ・通学、通勤、買い物などの交通が便利で快適に過ごせる

3 安全・安心

- ・全体の約 91%の方が、日ごろからの共助の関係性が必要と考えており、自分ができることとして、全ての世代で声かけなどの安否確認という回答が多かった。

4 地域活動など

- ・『地域活動に参加しない理由』について、「参加する時間がない」の割合が最も多いが、次いで「活動に関する十分な情報がない」、「参加するための手続きがわからない」と続いている。

5 堺区役所窓口・手続

- ・『窓口に望むこと』について、「自分に必要な各種届出・手続を窓口で迅速に対応してもらえる」の割合が最も多く、次いで「窓口でゆっくり相談しながら丁寧に対応してもらいたい」であるなど、窓口での対応を希望される方が多い一方、「電子化をもっと進め、オンラインで各種届出・手続ができる」の割合が 3 割強となっている。
- ・『オンライン手続きを利用したことがない理由』については、「操作方法に不安があるが、機会があれば利用したい」の割合が 4 割強で最も多かった。

【窓口に望むこと 上位 3 選】

- ・自分に必要な各種届出・手続きを窓口で迅速に提出できる
- ・窓口でゆっくり相談しながら丁寧に対応してもらいたい
- ・電子化をもっと進め、オンラインで各種届出・手続きができる

6 堺区の情報発信

- ・『堺区に関する情報の入手先』については、「広報さかい堺区版」の割合が約 8 割で最も多く、次いで「堺区のホームページ」の割合が 3 割弱となっている 一方、SNS からの入手は少なかった。

【堺区に関する情報の入手先 上位 3 選】

- ・広報さかい堺区版
- ・堺区のホームページ
- ・町内会・自治会の回覧板・掲示板など



5 堺市堺区政策会議でのご意見

■めざすべき堺区の将来像についてのご意見

- ・将来像は短い期間で変わるものより、長く腰を据えて取り組むという考え方が妥当である。
- ・現在のめざすべき区の将来像を次期プランに引き継いでよい。

■基本方針についてのご意見

- 基本方針 1「堺区の魅力が世代を超えて伝えられ、郷土愛が育まれていること」について
 - ・広報さかいから情報を入手している人が多いが、災害時等にリアルタイムの情報を発信できる X での発信を続けてほしい。
 - ・広報紙から SNS への流れを工夫することで、SNS の利用は伸びると思う。
- 基本方針 2「人と人とのつながりが地域を支え、活力が生み出されていること」について
 - ・自治会で女性役員が増え、これまでなかった女性ならではの意見が増え、子育て世代や横のつながりの強さを感じており、今後、長く自治会に関わってくれる子育て世代へのアプローチや、世代を超えた取組が作れると良い。
- 基本方針 3「おもてなしの精神で笑顔が溢れ、誰もが堺区に満足していること」について
 - ・オンライン申請を促進するため、操作方法の動画公開やマニュアルの整備を進めるなど、オンライン申請をやってみようと思うきっかけづくりが重要である。
- 基本方針 4「すべての人が生涯にわたって、安全・安心に住み続けていること」について
 - ・ホテル等での滞在者が、発災時にどこへ避難すればよいのか分かりやすくしてほしい。
 - ・安全・安心に関する基本方針の位置づけを見直し、4 番目から 1 番目にしても良いと思う。

6 まとめ

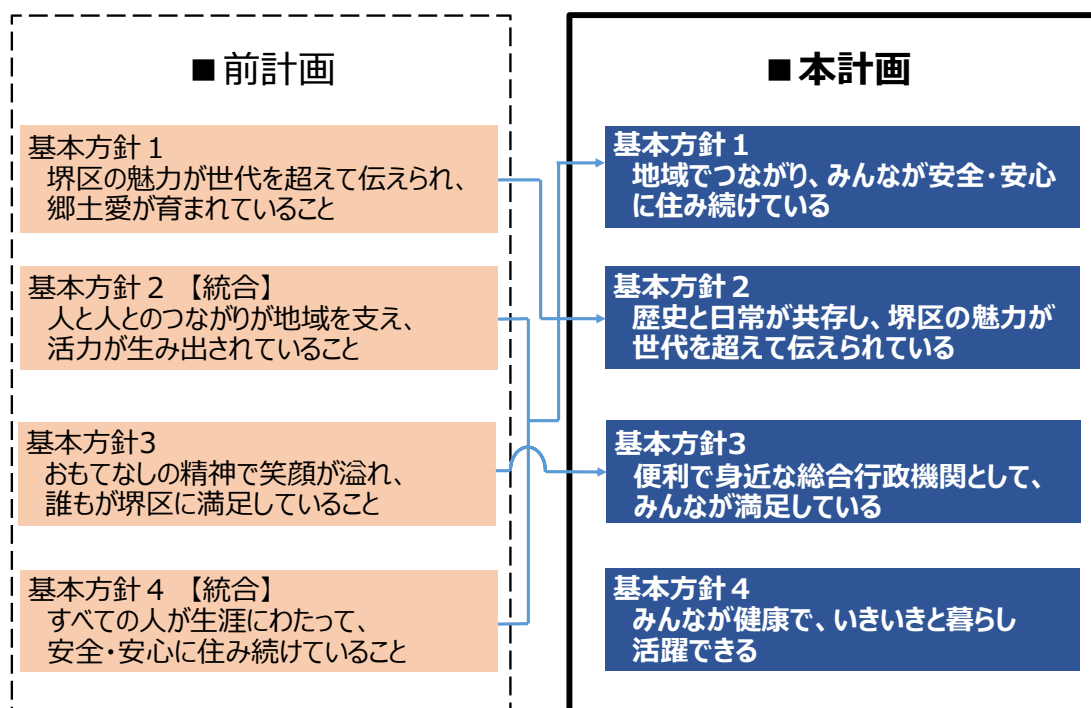
○将来像について

将来像は、短期間で変わるものよりも、長く腰を据えて取り組むという考えから、前計画で掲げた区の将来像は、本計画の2035年（10年後）の将来像として引き継ぎ、新たな施策により実現に向けた取組を進めます。

○基本方針について

本計画の策定に当たっては、前計画の成果や進捗状況を振り返り、KPIの結果のほか、社会情勢の変化、堺市堺区政策会議でのこれまでのご意見、区民アンケートの結果を踏まえて、前計画の基本方針を総括し、見直しました（下記図参照）。

このことを踏まえつつ、新たに4つの基本方針を定め、それに紐づく施策、取組の方向性を設定します。社会情勢の急激な変化や市民ニーズの多様化・複雑化により、事業内容は柔軟に変化することが求められるため、これらを反映した個別具体的な事業を毎年度策定する区の運営方針などで示します。



第2章 将来像・基本方針

1 めざすべき将来像【2035年（10年後）の将来像】

恵まれた歴史と文化を誇りに、
地域の力で居住の魅力と活力を生み出す堺区

2 基本方針

1 地域でつながり、みんなが安全・安心に住み続けている

2 歴史と日常が共存し、魅力が世代を超えて伝えられている

3 便利で身近な総合行政機関として、みんなが満足している

4 みんなが健康で、いきいきと暮らし活躍できる

3 基本方針及び取組の方向性

基本方針 1

地域でつながり、みんなが安全・安心に住み続けている

■ 現状・課題

- ・南海トラフ地震などの大規模地震が発生する可能性が高くなっており、堺区では津波の被害が想定されていることや、令和 6 年 1 月に発生した能登半島地震以来、地域の方々の防災意識が高まっている状況です。また、記録的な大雨などが全国各地で発生しており、激甚化する風水害にも備える必要があります。
- ・災害時において、被害規模が大きければ大きいほど、公助には限界があり、自助、共助が非常に重要であるため、幅広い世代に自助、共助の取組を促す必要があります。
- ・地域コミュニティの希薄化や、生活様式の変化などにより地域防災活動への参加者が一定数に限られている状況です。その一方、安全・安心に住み続けるためには、日ごろから地域のつながりや近隣同士の助け合いが必要と感じている人が多い状況です。
- ・なお、対面型の犯罪だけでなく、情報通信技術の普及・進展に伴う非対面型犯罪の増加など犯罪の複雑化・多様化に応じた対策のための取組が必要です。



施策 1-1 地域活動支援を通じた地域防災力の向上を図ります

**施策 1-2 地域ぐるみで防災・防犯活動等を行い、安全・安心で
快適な環境を創出します**

■取組の方向性

- 防災訓練や啓発活動などを通じて、自助、共助の機運を高め、区民の防災意識の向上を図ります。
- 自主防災組織への支援強化や担い手育成などで地域防災力の向上を図ります。
- 地域団体の自主的な活動の支援を通じて、地域のつながりや絆を深める取組を推進します。
- 地域や警察、各種団体と連携・協働し、防犯知識の普及や防犯意識の向上、防犯環境の整備などに取り組み、犯罪のない安心して暮らせる良好な地域社会をめざします。
- 道路・公園、ライフライン等都市基盤の適切な維持・管理について、関係事業者や庁内関係部局との連携を図り、地域での安全・安心な環境形成をめざします。

■施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）

指 標	現状値	目標（R12 年度）
大阪重点犯罪認知件数（堺区）	195 件（R6 年）	175 件
自主防災訓練の参加人数	3,055 人（R6 年度）	4,000 人
地域での様々な活動が活発か （堺市市民意識調査（堺区））	58.8%（R6 年度）	62%

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計



基本方針 2

歴史と日常が共存し、魅力が世代を超えて伝えられている

■ 現状・課題

- ・堺区は、日常の買い物に便利な施設が数多く存在し、鉄道は南北に走っており、買い物や通勤、通学など利便性の高い地域です。
- ・世界文化遺産である百舌鳥古墳群の大部分を有し、数多くの神社仏閣などの歴史文化資源が存在し、区民は身近に感じています。
- ・ガス気球の運行や大和川リバーサイドサイクルラインの整備など新たな取組が進んでおり、インバウンドや国内旅行者などの誘客につながる効果的な発信手法が求められています。
- ・令和 6 年度市民意識調査結果では、「堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思う割合」、「堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力がある都市だと思う割合」「堺市は歴史文化資源を身近に感じる都市だと思う割合」などの項目について、区民の評価が 7 区中最も評価が高い状況です。
- ・本庁が実施する区域内での歴史、文化、観光、スポーツ等の取組について、区の魅力が区民に届くよう、ターゲットに応じて効果的に発信することが重要です。
- ・区民アンケートでは、「区役所のサービスや相談窓口」や「お出かけ情報・イベント」の情報が知りたい人が多い状況です。

施策 2-1 地域資源を活かした更なる魅力発信等を強化します

施策 2-2 区民を巻き込んだ魅力発信の取組を推進します

■取組の方向性

- 地域の魅力や行政情報など、多くの方に必要な情報が届くよう、SNS やマスコットキャラクター等を活用しながら効果的な情報発信を行います。
- 広報紙、ホームページ等既存の媒体をさらに見やすくなるよう見直し、画像データを用いた情報発信を積極的に行います。
- 地域や事業者と連携し、区民が主体的に情報発信したくなるような仕掛けを作り、情報の拡散・魅力発信を図ります。
- やさしい日本語や多言語などでの情報発信を推進します。
- 歴史・文化、観光、スポーツ、産業、自転車、公園緑地など各局の取組と連携して、地域の魅力向上をめざします。

■施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）

指 標	現状値	目標（R12 年度）
堺区長 X、サカエル&みそさかい X、 合算フォロー数（堺区調べ）	3,621 件（R7.8）	5,000 件
堺市は海外の人たちに紹介したくなる魅力 がある都市だと思う （堺市市民意識調査（堺区））	48.1%（R6 年度）	52.1%
寺社など歴史的資源の満足度 （区民アンケート）	51.8%（R6 年度）	56.8%

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計

※区民アンケートは「満足」「どちらかといえば満足」の%を合計



基本方針 3

便利で身近な総合行政機関として、みんなが満足している

■ 現状・課題

- ・ICT の進展や浸透により社会環境が変化し続ける中、持続的に「利便性の高い区役所」を実現するためには、区役所の DX を継続して推進する必要があります。
- ・区民アンケートや堺区政策会議での区役所窓口に関する意見等は世代や人によって多様であり、区役所窓口は接遇に加えて、スムーズな対応や丁寧な対応を求めている方、外国人住民の方への対応など様々なニーズに対応していかなければなりません。繁忙時期の窓口での待ち時間が長く、待合スペースも限られるため、待ち人数等の発信を行っていますが、まだまだ認知されていない状況です。
- ・複雑化・多様化している地域課題を解決するためには、身近な行政機関として、地域の意見等を踏まえながら、本庁や関係機関との連携により、施策を推進することが重要です。
- ・地域活動団体をはじめ、地域に関わる機関等と連携を深め、地域課題の解決に努めます。
- ・様々な国籍の外国人住民の方が増加しており、文化や習慣の違いを踏まえて対応する必要が高まっています。



施策 3-1 窓口 DX を推進し、利便性の高い区役所をめざします

施策 3-2 来庁された方に対し、質の高い行政サービスを提供します

■ 取組の方向性

- 業務の効率化など行政の DX 化とあわせ、個々の区役所職員が説明力等の資質向上や業務に関する十分な知識習得を図り、来庁者が正確かつ効率的に来庁目的を達成できる環境を創出します。また、職員の接遇力の向上に努めます。
- ライフイベントによる手続きの利便性の向上を図る「書かないワンストップ窓口」の推進や、各種手続きのオンライン化により、窓口の DX を推進します。
- デジタル利用に向けた支援を行い、デジタル・ディバイドの解消に努めます。
- 高齢者、外国人、配慮が必要な方などにも伝わる、やさしい日本語の利用や多言語化などきめ細かなサービスの提供体制を構築します。
- 区民からの相談を受け止め、様々な家庭状況に寄り添い、正確で迅速な対応を進めます。

■ 施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）

指 標	現状値	目標（R12 年度）
窓口対応について 「とても良い」「良い」の割合 (窓口アンケート調査)	91.1 %（R 6 年度）	95%
堺市は魅力や愛着を感じる都市だと思いますか (堺市市民意識調査（堺区）)	73.8 %（R6 年度）	74.0%
オンライン手続きの経験 「経験がある」と答えた割合（区民アンケート）	42.8%（R6 年度）	47.8%

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計



基本方針 4

みんなが健康で、いきいきと暮らし活躍できる

■ 現状・課題

- ・堺市の女性の健康寿命は政令指定都市の中で最下位であり喫緊の課題です。
- ・堺区は、世帯あたり人口と年少人口比率（0～14歳）が7区で最も低い状況です。
- ・区民アンケートによると、「介護予防、認知症予防の取組」、「健康増進の取組」に対する満足度が比較的低い一方、「わからない」の回答も多く、適切な情報発信につながっていない状況です。
- ・要介護状態となる手前の「フレイル」について、認知度は低いですが、「フレイルのハイリスク者」は7区で最も高い割合です。
- ・妊娠期・乳幼児期の子育てについては、支援者がいない家庭があり、保護者が不安を抱えながら子育てをしている現状です。
- ・虐待・不登校・ヤングケアラー・貧困など、こどもが抱える課題は多様化・深刻化しており、社会全体での支援が必要です。このような状況から、こどもが安心して過ごせる「居場所」の必要性が高まっています。

施策 4-1 区民それぞれが健康に関して高い意識をもつ地域をめざします

施策 4-2 生涯にわたって健やかに暮らすことができるよう支援します

イメージ写真

イメージ写真

■取組の方向性

- フレイル予防教室の定期的開催やロコモサポーターの育成など、フレイル予防支援・認知症予防の取組を充実します。
- 運動や社会参加など多面的な取組により、孤立化を防ぎ、生涯にわたって充実した日々を送ることができる環境を醸成します。
- 元気な時から今後の自分のめざす「健康」に向けて取り組むために、様々な年代に応じた情報を効果的に発信します。
- 障害の有無、また、年代にかかわらず、自分らしく生活できることが健康であることを周知します。
- いきいきサロン・子育てサロン・自治会組織等地域活動へのアプローチを通じて、地域へのアウトリーチによる支援体制を充実します。
- 子育て支援施策の充実や児童虐待の予防と迅速な対応等を目的に設置しているこども家庭センターにおいては、統括支援員を中心に関係課の連携を強化し、情報共有の円滑化や支援体制の一層の充実を図ります。
- 学齢期のこどもに対する支援も重視し、地域・関係機関と連携して安心して過ごせる居場所の設置を進めます。
- 関係機関が連携して包括的な支援を行う「多機関協働事業」により、地域の支援機関・団体との連携を強化し、複雑化・多様化することも、家庭の課題解決・軽減を図ります。

■施策の成果を図る KPI（重要業績評価指標）

指 標	現状値	目標（R12 年度）
健康増進の取組の満足度 （区民アンケート）	10.7%（R6 年度）	13.2%
介護予防、認知症予防の取組の満足度 （区民アンケート）	6.9%（R6 年度）	9.4%
フレイル該当者割合 （後期高齢者健康診査質問票（堺区））	25.6%（R5 年度）	23.1 %
こども家庭センターが支援して設置する地域での こどもの居場所の数	0 か所（R7 年度）	3 か所

※堺市市民意識調査は「そう思う」「ある程度そう思う」の%を合計

※区民アンケートは「満足」「どちらかといえば満足」の%を合計